

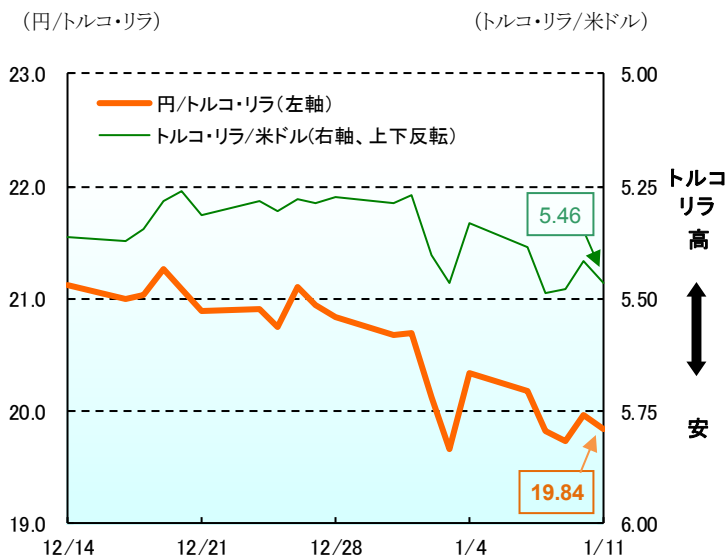
### 【2019年1月5日～2019年1月11日までの推移】

#### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

エルドアン大統領は8日（現地、以下同様）、米国のシリアからの米軍撤収条件を批判し、予定されていたボルトン米大統領補佐官（国家安全保障問題担当）との会談を拒否しました。米国との関係悪化が懸念されたことから、トルコ・リラは、対米ドル・対円ともに下落しました。国債金利は、トルコ中央銀行のインフレ率調査で期待インフレ率が低下したことを受けて低下しました。

【トルコ・リラ 為替推移】(2018年12月14日～2019年1月11日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

#### 【2】今週の見通し

今週は16日にトルコ中央銀行の政策金利が発表される予定です。市場では据え置き予想が優勢です。トルコのインフレ率は2018年10月の前年比+25.2%をピークに鈍化してきており、内需の鈍化や政府の価格統制によるインフレ抑制効果を確認する局面が続くそうです。対米関係に関しては14日に、エルドアン大統領はトランプ米大統領と電話会談で協議を行いました。今後も、事態の行方を注視していく必要があります。また、市場のリスクセンチメントにも引き続き留意する必要がありますと考えています。

【トルコ 金利推移】 (2018年12月14日～2019年1月11日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>